

広報

今 帰 仁

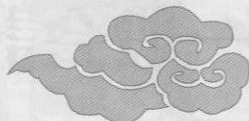
なきじん

毎月1日発行

1999

4月

NO.281



今帰仁御神

●今帰仁村の人口

男4,823人(-3) 女4,804人(-9) 計9,627人(-12)
世帯数3,307戸(+3) 平成11年2月28日現在



思い出胸に巣立つ春

村内の各小・中学校で卒業式

三月十四日から二十四日にかけて村内小学校一五七人(兼小三十九人、今小六十人、天小三十七人、湧小十六人、古小五人)、中学校一三二人(兼中三十四人、今中八十四人、湧中十一人、古中三人)の卒業式が各学校の体育館で行われ、卒業生はそれぞれの思い出と新しい学校生活への希望を胸にあるものは晴れやかに、あるものは涙ぐみながら先生や級友に別れを告げ、母校を巣立った。

また、卒業式には在校生や父母、関係者多数が出席し、卒業生の新たな一歩を祝った。

今帰仁村民憲章

- 一、みんなで守ろう 恵まれた自然と文化遺産を
- 一、みんなで作ろう うるおいとやすらぎのある村を
- 一、みんなで育てよう のびゆく力と豊かな心
- 一、みんなでめざそう 健康で希望に満ちた村を
- 一、みんなで築こう 平和で明るい活力のある村を



▲21世紀を担う今帰仁っ子が、心身ともにたくましく育つ村づくりを!

そして、本村の将来像「自然と歴史とロマンに満ち、躍動するむら」の実現に向け、村民の英知を結集し、産業の振興、農林水産業の振興、生活基盤の整備、保健福祉の充実、教育、文化、スポーツの振興を図り、一万村民と手を取り、心を合わせて邁進していく所存であります。

次に具体策について申し上げます。

● 予算編成について

わが国経済は、バブル期の後、いまだに景気回復の軌道に乗っておらず、企業や消費者の我が国経済の先行きに対する信頼感の低下から、景気は足踏み状態となっております。しかし、本村のような地方経済圏にあつては景気を肌で感じるまでには至っていないのが実情でありましたが、最近では景気の影響を少しずつ受けるようになっております。景気浮揚の環境としてはまだまだ弱い状況ではありますが、本村におきましても、村税の

大幅な増収が望めない状況から予算全般を見直す基本姿勢に立つとともに、歳入の適正なる確保に努め、歳出面では、既存の制度、施策の見直しを行いました。同時に経常経費の節減合理化を図り、極力財源を確保、各種施策の実施にあつては緊急性等を勘案しながら、財源の効率的配分に努めるとともに、健全財政の堅持を基本として編成いたしました。

平成十一年度の予算規模は四七億〇七二万七千円で前年度と比較して四億二七一八万三千円の減少、率にして八・三%減となっております。主な理由は、保健センター整備事業が三億〇〇五万一千円、農業近代化施設整備事業(アロエ工場)二億九五〇〇万円、住宅建設費一億六四二万四千円の減となつてることが主な要因です。このような状況から平成十一年度は、国、県の補助金等による財源の確保ができる事業から優先的に予算措置をいたしました。ここで平成

一、歳入

歳入の四八%を占める地方交付税は、国の策定する地方財政計画及び前年度の実績等を勘案し、四二〇万三千円の減額をいたしました。また村債として主なもの、運天漁港局部改良事業二二八〇万円、道路が五条で一億五五〇〇万円、天底小学校新増改築事業一億五二〇〇万円兼次小学校増改築事業一億五五〇万円となっております。村債事業として、リフレッシュファミリーパークなきじん整備事業九四一〇万円となっております。

二、歳出

歳出については、農林水産業費の減が最も大きく二億九五七万七千円(四二・一%)の減額でアロエ工場建設事業等となっております。

平成11年度当初予算

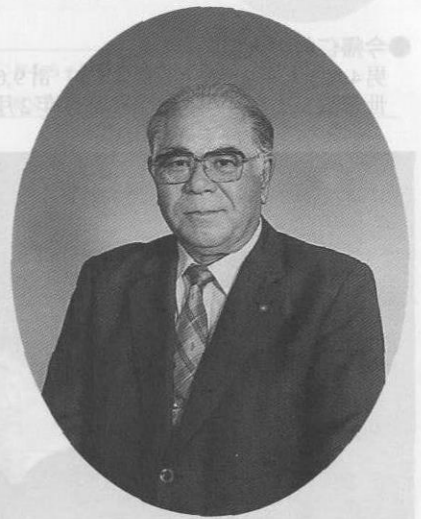
『自然と歴史とロマンに満ち躍動する村』

平成11年度 一般会計予算47億723万円

3月10日からスタートした3月定例議会の冒頭、上間博安村長は「自然と歴史とロマンに満ち躍動する村」の実現に向け、これから一年間の村政全般にわたる重要施策を発表した。

村長の提案事項の説明と一般会計予算の概要を今月及び来月号で紹介しします。

平成十一年度 施政方針



上間博安村長

● はじめに

本日、平成十一年今帰仁村議会第一回定例会の開会にあたり、平成十一年度一般会計予算案をはじめ、諸議案の説明に先立ち、村政運営にあつての基本的な方針と所信の一端を申し上げ議員各位、村民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

私が村長三期目に就任して二年六カ月余が経過致しました。その間議員各位並びに村民の皆様への村政に対する深い

ご理解と多大なるご支援ご協力のもと可能な限り、村民の意志を尊重する開かれた村政を推進し、村民の福祉等の向上を図ることを基本としてきました。これまで諸事業が順調に推移し、多くの成果を見ておりますことに感謝の意を表する次第であります。

平成十一年度今帰仁村基本構想、基本計画に沿つてこれからの高齢化社会に対応できるような施策を推進するとともに多様化する村民のニーズに応え、村民の生活安定を基本に住みよい村づくりに鋭意努力してまいります。

ところで、これまでの大きなプロジェクトとして古宇利架橋建設計画、運天港湾整備計画を推進してまいりましたが、古宇利架橋建設につきましては、平成十四年の完成に向けて着々と工事が進められ、運天港も順次整備されており、ワルミ架橋につきましても、平成八年度に事業採択され、設計等諸事業の進展が図られております。

さらに今帰仁城跡は「琉球

王国の城・遺産群」として世界遺産への登録を目指し、準備作業を進めているところでもあります。

これまで、農村整備事業として、モデル事業、中山間整備事業を導入してきましたがそれ以外の未整備地区には今年度より集落地域整備事業を導入し、集落地域整備を推進していく考えであります。

ソフト面においては、昨年日本陸上競技連盟から認定された、フルマラソン公認の今帰仁コースで、初めての県高校駅伝大会が開かれ、地域活性化に大きく貢献をいたしているところでもあります。今後とも、活力ある村づくりのため、観光産業や優良企業等の誘致を図り、「若者が帰りたくなるむら、住んでみたいむら」を目指して、引き続きリフレッシュファミリーパークなきじん整備事業を推進していく考えであります。

また、村民の健康づくりを目的とした、保健センターも建設され、さらに社会福祉の充実を目指してまいります。

障害者のニーズに添ってその対象者に必要な援助と適切な対応を図ってまいります。



●児童福祉について

近年出生率の低下に伴う少子化、核家族化の進行など子どもと家庭を取り巻く環境が大きく変化しております。このような状況の中、子どもが健やかに生まれ育つための環境づくりを進めることは

極めて重要な課題であります。児童は本来家庭において両親の愛情に守られ健全に養育されるのが望ましいが、児童の中には、保護者に監護させることが適切でないことがあります。このような監護にかける児童には、児童福祉の面からできるだけ早く保護の手をさしのべてあげることが必要であります。

本村では、このような児童に対しては児童相談所や福祉事務所等関係機関と密接な連携を取りながら、必要に応じ養護施設等への入所措置をお願いしているところであり、また、障害児についても福祉サービスが受けられる適切な援助が必要であり、障害の特性や障害児のニーズに対応していきたくと考えております。保育事業については、豊かな人間性と創造力に富んだ心身ともにたくましく健康な園児の育成のため、保育環境の整備を図るとともに、障害児保育についても保育所の持つ

機能を活用し、健常児といっしょに保育することによって成長を全面的に支援して、障害児を早い時期に保育することで成果を収めており、引き続き障害児保育を推進してまいります。

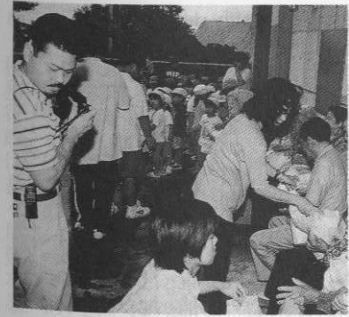
近年、女性の社会進出や就労形態の多様化に伴い、保育所における低年齢児保育など保育需要の多様化への対応が大きな課題となっておりますが、本村では、平成十年度に乳児保育促進対策事業で二保育所の施設を整備し、平成十一年度から中央・仲宗根両保育所で乳児の受け入れを実施、保育ニーズに対応していきたいと思っております。

総括的には、児童の健全育成については、国や地方公共団体の施策と児童福祉関係団体、児童福祉施設の適正利用と家庭や地域社会の人々の実践とが相まって達成されるものであります。従って今後とも本村の各関係機関団体との連携を図りながら児童福祉の充実に努めてまいります。

●地域福祉について

社会福祉は「生存権の保障」を理念とし、最低限度生活水準の確保を原則とした社会保障制度であります。

社会的に弱い立場にある方々を支援していくためには思いやりの心や自立する精神を培うことが大切であります。本村では、社会福祉協議会を中心にコミュニティセンターを地域福祉活動の拠点として、障害者や高齢者等、地域の福祉ニーズに応えるための各種事業の推進と、福祉問題の解決やそれらの改善向上を図るため、活動を推進しているところであり、平成十年度に引き続き、平



成十一年度も「老人デイサービス」「老人及び身障者ホームヘルプサービス」の事業を村社協に委託するとともに「障害児通園」「おとば学園」「ふれあい給食サービス」「ボランティア育成事業」「低所得者援護活動」「心配ごと相談」等各事業実施に対する助成を行っていきたくと考えております。

おとば学園が中心となって運営している地域交流プラザ「パル」は、障害者や高齢者の社会参加、生きがいづくりのため、おとば学園の活動の場としての充実に努めていきたくと考えております。今後とも、地域福祉活動の推進母体となる村社協、民生児童委員の組織活動等さらに、保健、医療、福祉関係者の連携により障害者も高齢者も可能な限り、在宅、地域で普通に生活ができるようにより一層ライゼーションの理念のもとに社会福祉の充実強化を図り、うるおいと安らぎのある村づくりに努めてまいります。

●保健事業・環境衛生について

明るく快適な地域社会の実現を目指し、村民が等しく健康で生きがいをもって生活できるように、これまで各種の保健事業を展開し、村民の保健の向上並びに福祉の増進を図ってまいりました。

生涯を通じて健康で生き生きとした生活を営むためには村民一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」という認識が大切であり、積極的な健康づくりを実践していく必要があります。

保健事業を推進する拠点施設として建設を進めている保健センターは、三月末に完成、四月からは保健予防課が移転し、業務を開始する予定であります。

保健センターを中心に、一般健康教育、重点健康教育、重点健康相談、機能訓練、各種検診等を積極的に推進いたします。また、健康手帳交付、訪問指導、デイケアの実施等効果的な健康づくりを進

めてまいります。

次に母子保健事業については、妊娠・出産・育児等健やかな子育てについて、きめ細やかで適切な指導と援助が必要であります。「乳児健診」「才半、三才児健診」「歯科相談」「離乳食実習」「妊婦一般検査」等の諸事業を尚一層充実強化し、効果的に実施してまいります。

乳児医療費助成事業については、県とも連携を図り対象者を三才未満児まで拡大し、乳幼児の保健の向上を図ってまいります。次に予防接種法に基づき各種の予防接種を事業の趣旨及び目的に沿って、集団接種等を計画的に実施し、公衆衛生の向上に寄与していきたいと考えています。

次に老人医療費は高齢化社会を迎え年々増加しています。医療費の抑制と適正化を図る対応策としてはレセプト点検の充実医療費通



知の実施、第三者行為求償等の充実を図ってまいります。

住民検診については、検診対象者の皆受診を目標に基本検診の負担の軽減により受診率を高め、疾病の早期発見治療、予防対策等を図り健康づくり意識の高揚に努めていく所存であります。

さらに、本村の健康づくり推進協議会との連携を図りつつ、健康まつりの開催等、地域住民に密着した保健活動を展開してまいります。

次に環境衛生について、生活水準の向上、産業構造の変化等に伴いゴミ排出量の増加

と質の多様化を生じ、その適正な処理を図ることが環境及び、公衆衛生の向上を図る上で重要であります。

今後とも清掃組合、本部町とも連携を密にし、正しいゴミの出し方、リサイクル等の推進を図ってまいります。また、快適な環境は村民の誰もが望むものであり、ダイオキシン問題、水質汚濁等の公害問題、墓地公園、狂犬病対策等村民の理解とご協力を得ながら環境衛生の業務全般について積極的に推進してまいります。

●国民健康保険について

健康は幸せな家庭を築く第一歩であり、村民一人ひとりの健康が国民健康保険財政の安定につながる基本であると考えられます。国民健康保険は、制度発足以来、医療保険の中核として、地域医療の確保と健康の保持増進に大きく貢献してまいりました。

国民健康保険を取り巻く環境は厳しく、最近の医療技

術の進歩や人口構造の急速な高齢化等により、医療需要が増大しております。社会経済情勢を反映して、低所得者層の加入増や、保険税の収納率の伸び悩み、医療費の高い伸び等が相まって、国民健康保険財政は依然として厳しいものがあります。

このような状況のなか、国民健康保険事業を健全で円滑に運営していくためには医療費をいかに抑制していくかが今後の大きな課題であります。国民健康保険特別会計では、本年度も歳出抑制策の一環として、レセプト点検の強化と保険税の納期内納付の奨励、滞納整理の強化等の収納率向上対策を推進してまいります。

それに、今帰仁村健康まつりを開催し、村民自ら「自分の健康は自分で守る」との認識のもと行動する雰囲気づくりに努めてまいります。保健事業の強化については、保健予防課と提携し、村民の健康づくりを推進していく所存でございます。

●国民年金について

二十一世紀を目前に控えわが国は経済、行政、教育にわたる生活全般について、未来への道標を模索する途上にあります。

なかでも、ここ数年来、少子・高齢化は予想を凌ぐテンポで進展しており、現下の厳しい経済状況の中で、社会保障制度全体の在り方にかつてないほど地域住民の関心が寄せられているところであります。

このような諸状況の中、国民年金事業の課題としてまず「未加入者・未納者問題」があげられます。

国民全体が共有する「財産」ともいうべき国民年金制度の健全な運営を確保し、また、住民の国民年金権を確かなものにしていくためにもこの問題は全力をもって取り組むべき重要な課題であると認識しております。

帳送付による適用の推進、国民健康保険加入者に対する国民年金の適用の推進に取り組んでおり、一定の成果を得ているところであります。他方、未納者対策についても担当職員、国民年金指導員による納付督促の実施と、口座振替の推進等、納付しやすい環境づくりに努めるほか電話、戸別訪問による納付督促の実施など、特に重点的な取り組みとして力を注いでまいります。

村民の国民年金受給者は平成十年三月末現在で二、三、五四人、年間受給額は一、三億六、九二二万円と多額に達しております。今後も、村国民年金推進協議会の委員、各區長、書記の方々と連携し、より多くの村民が、より多くの年金を受給できるよう活動を展開、村民福祉の向上に努めてまいります。



○村保健事業について

春の訪れを感じる今日この頃、村民の皆様いかがお過ごしでしょうか。四月は新学期会計年度始めなど何かとあわただしいことと思います。お忙しい中、自分の健康については見落としがちになることも多いと思います。そんな時こそ「自分の健康は自分で守る」という認識のもとで、より一層体には気をつけていただきたいと思います。

さて、本村においては、村民の皆様健康づくりをお手伝いするため、様々な目的で「保健事業」を行っています。今回の保健婦だよりでは、保

健事業について少しではありましたがご紹介いたします。保健事業では、主に①健康診査 ②健康相談 ③健康教育 ④家庭訪問 ⑤機能訓練等が行われています。

①健康診査：体重測定や血液検査など、身体状況をチェックし病気の予防・早期発見につなげる目的で行われます。年に一度の住民健診（がん検診含む）や、子どもでは乳児健診、一歳六カ月及び三歳児健診がそれにあたります。子どもの健診では、身体面だけでなく精神面の発達もチェックします。日頃「病気になるいから」と安心していても健診で何らかの病気が見つかった方もいます。健康づくりの第一歩として、健診を是非受けていただきたいと思います。

②健康相談：毎週水曜日、午前九時から十一時まで、保健婦室において健康相談を行っています。食生活や運動、育児、心の健康についてなど、

③健康教育：糖尿病などの生活習慣病予防に関する教室を行っています。内容は、お医者さんによる病気の説明、運動指導士による運動指導、栄養士と共に行う調理実習があります。また、妊婦さんや小さなお子さんをもつお母さんたちが対象の離乳食実習もそれにあたります。

④訪問指導：ねたきりの方に対する介護指導や血圧測定赤ちゃんの生まれた家庭での体重測定や育児相談など、高齢者から子どもまで、様々な理由で役場まで相談に来ることの難しい方を対象に、主に保健婦や助産婦が訪問を行っています。

⑤機能訓練：毎週水曜日、村コミュニティセンター一階リハビリ室において、機能訓練を行っています。四十歳以上で、脳卒中後遺症や老化などで身体に障害をもつたり機能



4月1日より保健予防課が今婦仁村保健センターへ移転します。
健康相談・健康教育・各種健診・予防接種等を行います。お気軽にご利用下さい。
電話 0980-56-1234
〒905-0492
住所 今婦仁村字玉城163-2番地
場所 村中央公民館南側（今婦仁の駅そ〜れ横）

知ってる?! 4月からも国民年金保険料 13,300円

(付加保険料400円)

4月からも国民年金の保険料は、13,300円と据え置きになりました。将来のためにまた病気やケガによる障害が残ったときのためにも、しっかり保険料を納めましょう。

そこでおすすめしたいのがこれ!!

お得で安心 前納

保険料は、1年分を一括して納めることができます。前納すると、毎月納めることがはぶけ保険料も引ききされてお得です。

4月中に1年分の保険料を前納した場合 155,750円

前納するとこんなにおとく 3,850円

ひと月ごとに納めた場合 13,300円×12月 = 159,600円

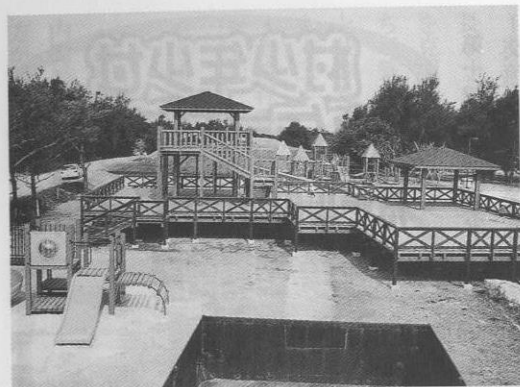


平成10年度

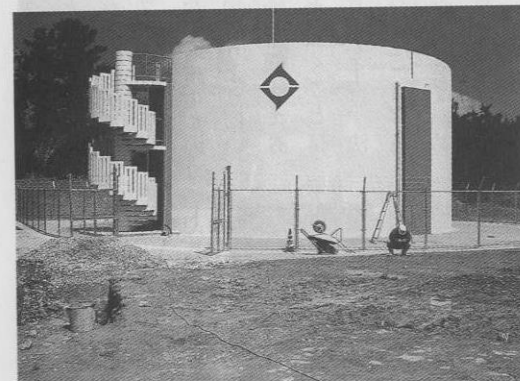
建設工事発注状況

3月8日現在

工事の名称	請負額	受注者名
保健センター造成工事	31,500,000	島政建設
メインロードエリア建設工事	46,725,000	(有) 源建設
駐車場エリア建設工事	29,400,000	(有) 上宏工業
運天港倉庫新築工事	47,250,000	(有) 上宏工業
村営住宅玉城団地3号棟建築工事	46,725,000	(資) 国吉組
村営住宅玉城団地3号棟設備工事	10,500,000	(株) 金良建設
兼次中学校体育館防水工事	6,195,000	リフォームサイエンス(株)
村営住宅玉城団地4号棟建築工事	46,672,500	平山工務店
村営住宅玉城団地4号棟設備工事	11,550,000	峰産業
兼次小学校特別教室新增改築工事(解体)	5,827,500	平山工務店
今帰仁城跡内建物撤去工事	1,050,000	(資) 国吉組
天底和呂目線道路改良工事	16,275,000	宮土建
諸志地区配水池築造工事	103,425,000	(有) 北山建設
子ども広場エリア建設工事	133,875,000	嘉陽組(有)
上運天唐の森線道路改良工事(1工区)	57,015,000	(株) 金良建設
兼次小学校校舎新增改築工事(建築)	164,850,000	(株) 渡嘉敷組 (有) 新城組
兼次小学校校舎新增改築工事(電気)	19,110,000	(有) 上宏工業
兼次小学校校舎新增改築工事(機械)	22,575,000	(有) 池田電建
諸志地区(兼次)地区簡易水道管布設工事	12,390,000	向陽電気
勢理客和呂目線特改一種工事	37,800,000	嘉陽組(有)
中央線道路改築工事(1工区)	46,935,000	(有) 上宏工業
諸志地区取水ポンプ場建築工事	8,190,000	島政建設
保健センター新築工事(建設工事)	98,700,000	(有) 孝夫組
保健センター新築工事(電気設備工事)	10,447,500	向陽電気
保健センター新築工事(機械設備工事)	29,400,000	(有) 丸鳥建設
諸志地区計装設備工事	94,500,000	(株) 金良建設
運天港倉庫解体工事	6,825,000	(有) 上宏工業
中央線道路改築工事(2工区)	34,020,000	(有) 新城組
上運天唐の森線道路改良工事(2工区)	22,365,000	栄建設
今帰仁城跡志慶真門郭石垣修復工事	7,350,000	(有) タマキ産業
兼次今泊線道路改良工事	9,550,000	(有) 喜屋武建設
天底道路災害復旧工事	3,675,000	(有) 仲原建設
今泊水路災害復旧工事	3,990,000	向陽電気
仲尾次尾山林道災害復旧工事	2,730,000	(株) 金星興産
湧川道路災害復旧工事	6,247,500	平山工務店
謝名土地改良幹線排水路工事	35,175,000	(有) 星土工業
村営住宅玉城団地遊具工事	2,782,500	向陽電気



▲子ども広場エリア建設工事



▲諸志地区配水池築造工事



▲村営住宅玉城団地建築工事



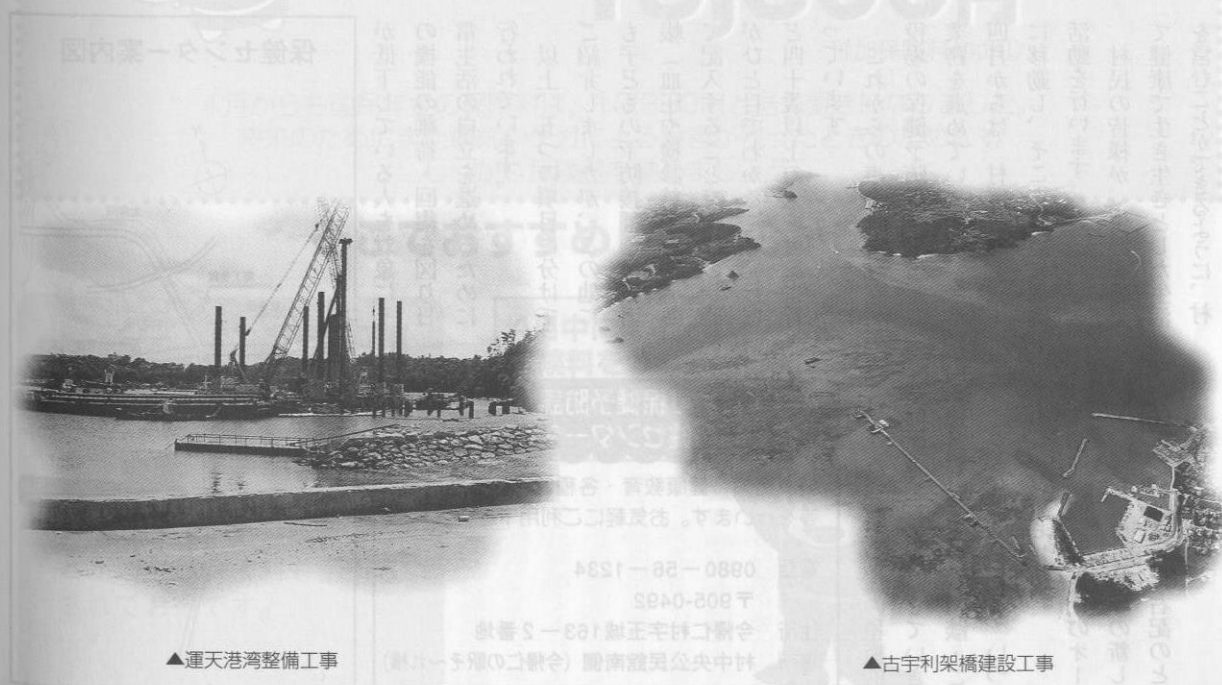
▲上運天唐の森線道路改良工事

保健センターのよいよ4月1日オープン 村民の健康づくりの施設として期待



▲4月オープンに向け着々と工事が進む保健センター

村では「豊かな自然と調和し、うるおいと安らぎに満ちた暮らしづくり」を目指して、平成10年度は、村の三大プロジェクトである古宇利架橋建設や運天港湾整備も着々と工事が進められ、その他、公共工事の発注状況は保健センターをはじめ村道、水道、土地改良、村営住宅の工事等が次々と竣工した。そこで村が平成10年度に発注した各事業を一部写真を交えて紹介します。



▲運天港湾整備工事

▲古宇利架橋建設工事

村少年少女 ホッケー交流大会 ボールのコントロールに 悪戦苦闘

第十四回村少年少女ホッケー交流大会(村教育委員会・主催)が二月二十一日、村運動公園ホッケー場で開催され、村内四つの小学校の四年生以上の男女(二百人)十一チームが参加して熱戦を繰り広げた。



▲みごとにボールを操るチビッコたち

ホッケーは日ごろ慣れてない競技とあって、一回戦はどのチームも動きがぎこちなくスティックで相手の手や足をなぐったり、ボールのコントロールが思うようにいかず悪戦苦闘。それでも勝ち抜くことにめきめき腕を上げ、決勝戦ではみごとなスティックさばきで詰め掛けた応援団をうならせた。

試合の結果は、四年生が湧川小、五・六年生の部と女子は兼次小がそれぞれ優勝した。

また、石川清勝君

親善バレー、バスケットボール大会で 区民の親善を深める「郷土」

字湧川(与儀常次区長)では二月六日、区民の親善と交流を目的に親善バレー、バスケットボール大会が湧川小中体育館で開かれた。

催で行われ、中学生、青年会PTA、学校職員など関係者多数が参加して熱戦を展開した。各チームとも一体となってボールを追い、得点することとに館内は歓声に包まれた。試合はPTA母親チームと

父親チームが上位を独占。大会終了後に公民館で行われた懇親会は、珍プレー、ハッスルプレーに話が弾み、終始和やかな雰囲気の中お互いの親善を深めた。

第七十三回沖繩県学童軟式野球北部ブロック大会は二月二十八日、三月七日の両日、本部小、中学校グラウンドで開催され、十チーム(今帰仁三本部六、伊江二)が出場した。



▲2連覇を達成した北山キング

北山キングと今帰仁ジュニアの今帰仁勢同志の決勝戦は白熱した試合を展開。三点を先行した北山キングを今帰仁ジュニアは最終回一点を返しなおも二死一、二塁と一打同点のチャンスを迎えたが後一歩及ばず、北山キングが二連覇を達成、県大会に派遣されることになった。

好プレイも続出し、応援に駆けつけた父母らを喜ばせた。なお各賞は次のとおり

- 殊勲賞 上間 広野(北山)
- 敢闘賞 玉城 太樹(今帰仁)
- 打撃賞 平安山良平(北山)

島袋 将(北山)

多彩な催しで創立五十周年の 節目を祝う 兼次中学校

村立兼次中学校(高江洲進校長、生徒数百人)の創立五十周年記念式典と祝賀会が三月六日、同校体育館で行われた。

式典、祝賀会には、卒業生や村内の教育関係者ら多数が出席し、昭和二十三年四月兼次中学校として創立以来半世紀、「文武両道」の校風のもと三千七百人近くの卒業生を送り出した学校の誕生を祝った。

らしい伝統を引き継ぎ、次の大きな節目である百周年を迎える日まで、途絶えることなく伝えていきたい」と決意を述べた。

さらに祝賀会は、小学生中学生、PTAなどによる多彩な出し物でにぎわった。また、本年度は県大会において野球と男子バスケットがベスト8に入る健闘を見せ五十周年に花を添えた。

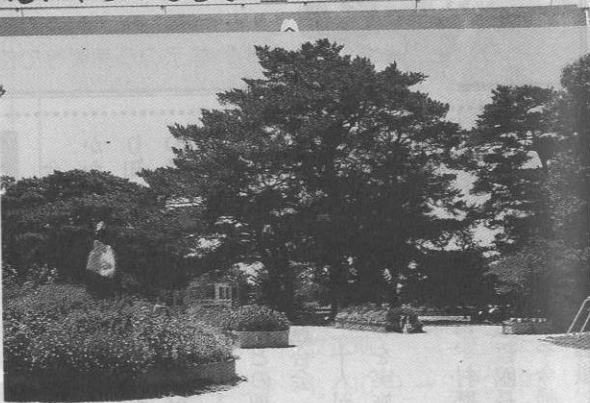
式辞で高江洲進校長が「あらゆる困難を克服して、先人たちが築き上げた伝統と校風を守るためにも、二十一世紀に向けた教育の創造に全力を尽くさなければならぬ」とあいさつ。



▲卒業生ら多数が出席し、母校の50周年を祝った(円内は高江洲進校長)

全日本学校緑化コンクールにおいて 今帰仁小が準特選

よく考えて学習する子
思いやりのある子
ねばり強くがんばる子



▲緑豊かな木々と草花に囲まれた今帰仁小の中庭

青少年の緑化活動及び学校における緑化教育の一層の推進を目的とした平成十年度全日本学校関係緑化コンクール

(主催・国土緑化推進機構)の中央審査会が東京で開催された今帰仁小が準特選(国土緑化推

山内晴子さんが 県社会教育功労表彰を受賞

平成十年度沖繩県社会教育研究大会が二月十七日、吉乃浦会館(中城村)で行われ山内晴子さん(仲尾次三)が県社会教育功労表彰を受賞した。

山内さんは、永年にわたり婦人会育成や青少年教育など幅広く社会教育の充実、振興に貢献し、地域に根ざした活動やその指導力が評価された。



▲表彰状を手に山内晴子さん

進機構会長賞)に選定された。今帰仁小では、地域の先人たちが守り育ててきた樹齢二百年から三百年という松並木の恵まれた自然環境のもと「豊かな感性を育む緑の学園心豊かで思いやりのある今帰仁っ子」を環境教育のテーマに掲げて教育活動を展開してきた。

謝花良俊校長は「今回の受賞はこれまでご指導いただいた村当局をはじめ関係者の皆様のおかげ。この喜びを村民とともに分かち合いたい」と話していた。

また、表彰式は五月三十日に開催される第五十回全国植樹祭(静岡県)で行われる。

北部地区公民館関係職員研修会 会員の親ぼくと質の向上を図る

北部地区公民館連絡協議会（根路銘国文会長）主催の第九回北部地区公民館関係職員研修会が三月四日、午後二時から本部町中央公民館で開かれ、各字の区長や関係職員約七十人が参加した。研修会では主催者を代表して根路銘国文会長（本部町教育長）のあいさつがあり

彼女たちが生きた時代の背景を歌と三線を織りまぜながら熱っぽく語った。さらに、三線サークルの受講生親川遥さん（今帰仁幼稚園）の歌三線と兼次小児童生徒による獅子舞が披露されたと会場から盛んな拍手が送られた。

歌と三線その心の演題で、琉歌の魅力について琉歌の秀峰を作り上げたと言われる「女流歌人」吉屋チル、恩納ナビーらが詠んだ歌を紹介し、



▲久武先生と息の合った演奏をする親川遥さん



▶交付第一号の稲福健一さんに上間村長から振興券が手渡された

3,830人に地域振興券交付される 村の活性化に一役 第1号は稲福健一さん

本村の十五歳以下の子どもや高齢福祉年金の受給者などを対象に地域振興券（一人当たり二万円の商品券）が三月二十五日、今泊を皮切りに一斉に交付された。国の景気浮揚対策の一環で交付される地域振興券は、若い親の子育てを支援し、個人消費の喚起と地域経済の活性化を図るのが目的。

村の交付対象者は三千八百三十人、交付額は七千六百六十万円で交付第一号となったのは稲福健一さん（七三歳・今泊七〇）。上間博安村長から振興券が手渡された稲福さんは「交付第一号とはうれしいですね。商品券は全部食品品の購入に充てたい」と話していた。



地域振興券

3月25日より 交付開始
使用開始

振興券は、村内の取り扱い事業者「今帰仁村地域振興券取扱店」標示の小売業等で使用できます。

身近な史跡から村の歴史を学ぶ 『村老人クラブ連合会』が 地域巡り



▲仲原氏の説明に聞き入る老人クラブの皆さん

今帰仁に生まれ育ったにもかかわらず、村の歴史をあまり知らない。今一度自分たちの身近にある歴史を掘り起こし、子どもたちや地域の人たちに伝えていきたいとの趣旨で、村老人クラブ連合会（座間味栄金会長）約二十人が二月十九日、村内巡りを実施した。

当日は悪天候の中、村歴史文化センター仲原弘哲館長の案内で、同センターや今帰仁城跡をはじめ村内の御嶽、墓などを見学した。老人クラブのメンバーは今回の地域巡りで話には聞いていたが、実際見るのは初めてという琉球王国三山時代の遺跡やノロ家の遺品、運天の大北（ウーニシ）墓、今泊の津屋口墓などの説明に改めて村の歴史の深さと重要性を認識した。座間味会長は「この老人クラブの地域巡りを契機に、村民が村の歴史について少しでも興味を持っていただければ幸い」と語った。

あまから 伝言板 くまから

「城跡の古い写真を探しています」

右下の写真は、今泊の上間幾一さんから提供された今帰仁城跡の古い写真です。今帰仁城跡は史跡として年次毎に着々と整備が進められ、調べていく中で多くの新しい発見と様々な課題点が出てくる場合があります。問題の解明にはさらなる調査が必要であり、現在、村教育委員会では今帰仁城跡の古い記録を探しているところです。この写真も昭和37（1962）に撮影されたものと思われ、子どもの後ろには、修復途中の平郎門の様子が写っています。このような今帰仁城跡の写った古い写真をお持ちの方がいましたら、是非村教育委員会までご連絡下さい。

連絡先：TEL (0980) 56-3201 (文化財係)



ご寄付

村社会福祉協議会へ
○今帰仁中学校（前川巨校長）全校生徒より社会福祉事業に役立てて下さいと募金六万四千五百八十円
※ご芳志ありがとうございます。

老人保健制度改正のお知らせ

平成11年4月1日より、老人保健による医療を受ける方の、医療機関窓口で支払う一部負担金の額が改正になりましたのでお知らせいたします。

	改正前	改正後
外来	1日につき 500円	→ 530円
※同じ医療機関ごとに1ヵ月4回まで負担します（改正後最高 2,120円）		
	改正前	改正後
入院	1日につき 1,100円	→ 1,200円

※村民税非課税世帯等で老人福祉年金をうけている方は、従来どおり1日500円です。なお、村民税非課税世帯等の方が入院する場合には「入院時一部負担金限度額適用認定証」の申請により減額制度があります。

詳しくは老人医療担当窓口まで

役場保健予防課
☎56-1234



4月/卯月

1	木	○デイサービス(土日、祝祭日除く毎日) (9:00~17:00 コミセン) ○心身障害児通園事業(土日、祝祭日除く毎日) (9:00~17:00 コミセン)
2	金	○村立保育所入所式
3	土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
4	日	
5	月	○区長会 (15:00~ 2階会議室)
6	火	
7	水	○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~16:30 コミセン) ○兼中・今中・湧小中・古小中・北山高入学式
8	木	○兼小・今小・天小入学式
9	金	
10	土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~16:30 コミセン)
15	木	
16	金	○牛セリ (セリ市場)
17	土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
18	日	○村野球大会
19	月	○村親善チャリティーゴルフ大会
20	火	○区長会 (14:00~ 2階会議室) ○1才半・3才児健診

21	水	○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~16:30 コミセン)
22	木	○デイケア
23	金	○北山老人大学開講式
24	土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
25	日	
26	月	○DPT予防接種
27	火	○こいのぼり掲揚式 ○月例記録会 (17:30~ 運動公園)
28	水	○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~16:30 コミセン)
29	木	みどりの日
30	金	

5月/皐月

1	土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
2	日	
3	月	憲法記念日
4	火	振替休日
5	水	こどもの日
6	木	○区長会 (14:00~ 2階会議室)
7	金	○ポリオ予防接種
8	土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン) ○日本脳炎予防接種 (小・中) ○やんばる歌伝伊是名島大会 ○小学生ムラ・シマ講座
9	日	

進するのみ。

■後は、村の施策に期待し、村民の英智と創意工夫で過疎にならない村づくりを推進するのみ。

■因に、本村の平成十年度出生者は九十二人で、今年四月に小学校に入学する新一年生は百三十五人、一昔前に比べてこれだけ生徒数が減ると中学校の統合もやむをえないのかな？

■四月一日より村民待望の保健センターがオープンした。これからの高齢化社会を支える施設として期待される。

■さあ：今月は新年度、入学式や人事異動のシーズンです。私の職場(今帰仁村役場)でも三月八日に人事異動の内示が発表され、その瞬間を職員全員がかたずを呑む思いで見守った。対象者にとっては不平不満もあるだろうが、国、県職員のようにあちらこちらに飛ばされることを考えるとぜひいたくは言っていられないとにかく頑張ろう！

編集後記